

大エジプト博物館のいま ファラオの至宝をまもる2023

世界最大規模の大エジプト博物館の開館が近づいています。その開館に向けて、日本の独立行政法人国際協力機構（JICA）や東京文化財研究所は様々な支援をおこなってきました。このシンポジウムでは、大エジプト博物館の現状と魅力を語り、その社会的な役割や未来について考えていきます。

2023年 8月 6日(日) 12:30~16:30

会場：東京国立博物館 平成館大講堂

定員：**350名**（先着）

参加費：**無料**

言語：日本語、英語・アラビア語（逐次通訳付き）

オンライン申込用
QRコード



◇参加登録必須◇ 【締切：7月27日(木)】

申込方法 ※入場案内をお送りするため、オンラインでのお申し込みを推奨いたします。

① オンライン申込 <https://forms.gle/TtL3qjc6GCodYJ9m9>

② メール申込 tobunken.egypt@gmail.com 参加希望の旨を記してください。

③ 電話申込 03-3823-2439（月～木曜 10:00-17:00）

主催：東京文化財研究所、大エジプト博物館、独立行政法人国際協力機構（JICA）

共催：佐賀大学芸術地域デザイン学部、筑波大学西アジア文明研究センター、東京藝術大学美術学部、東日本国際大学

後援：日本博物館協会、ICOM日本委員会、全日本博物館学会、日本ミュージアム・マネジメント学会、文化財保存修復学会、エジプト・アラブ共和国大使館



大エジプト博物館のいま

ファラオの至宝をまもる2023

東京会場:8月6日(日)12:30-16:30

◇プログラム◇

- 12:30-12:40 ご挨拶
松永秀樹 (JICA中東欧州部長)
- 12:40-12:45 大エジプト博物館の開館に向けて
鈴木 彰 (大エジプト博物館第一館長補)
- 12:45-13:15 基調講演「大エジプト博物館はいま」
アーテフ・ムフターフ
(大エジプト博物館プロジェクトおよび周辺地域総責任者)
- 13:15-13:30 休憩
- 13:30-14:00 特別講演 「クフ王第2の船プロジェクト」
吉村作治 (東日本国際大学総長)
アイーサ・ジダン (大エジプト博物館保存修復執行部門長)
- 14:00-15:15 パネルトーク 「文化遺産の保存活用の国際協力の現場から」
司会: 友田正彦 (東京文化財研究所副所長兼文化遺産国際協力センター長)
パネリスト: アイーサ・ジダン、石井美恵、岡田 靖、河合 望、谷口陽子、他
- 15:15-15:30 休憩
- 15:30-16:10 パネルディスカッション「大エジプト博物館への期待」
司会: 鈴木 彰
パネリスト: 青木繁夫、栗原祐司、中村三樹男、松永秀樹、他
- 16:10-16:25 質疑応答
- 16:25-16:30 閉会挨拶 齊藤孝正 (東京文化財研究所所長)

大エジプト博物館 からの招聘者



アーテフ・
ムフターフ氏



アイーサ・
ジダン氏

【注意事項】

本シンポジウム参加者
への博物館入場特典・
割引などはありません。

総合司会: 山田綾乃 (東京文化財研究所文化遺産国際協力センター・アソシエイトフェロー)

会場: 東京国立博物館 平成館大講堂

入場口: 西門のみ 博物館利用者と区別するため、
正門からは入場できません。
友の会の方も同様です。

受付開始時刻: 12:00~

【お問い合わせ先】

東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター
担当: 山田
tobunken.egypt@gmail.com
03-3823-2439 (月~木曜10-17時)

写真: GEM提供

